

2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震に関する J-RAPID 学校・防災教育プロジェクトにて調査とワークショップを実施しました (2024/4/26-29)

テーマ：2023 年カフラマンマラシュ地震、学校教育、防災教育
会場：ガジアンテプ県、ハタイ県（トルコ）

東北大学災害科学国際研究所メンバーを中心とする J-RAPID プロジェクト（※）では、2024 年 4 月 27 日に、2023 年 2 月に発生したカフラマンマラシュ地震の被災地ガジアンテプ市にて、現地の教員を招いてワークショップを行いました。また、4 月 26 日と 29 日には、それぞれガジアンテプ県とハタイ県の国民教育局を訪問し、同県における学校教育の状況や防災教育に関する最近の状況を調査するとともに、意見交換を行いました。当研究所からは、福島洋准教授（陸域地震学・火山学研究分野）、齋藤玲助教（認知科学研究分野兼任）、北村美和子特任研究員（国際研究推進オフィス）が参加しました。

ワークショップでは、プロジェクトの紹介、日本での東日本大震災を受けた防災教育の展開に関する紹介、2023 年カフラマンマラシュ地震被災地の学校教員に対するアンケート調査の結果の紹介をした後、①アンケート結果についての感想や意見の共有、②現行のカリキュラムに加えていくべき防災教育の内容、③これから教員を志す教職課程の大学生に対して教えるべき防災研修の内容の 3 点について、グループ議論を行いました。

県の国民教育局の訪問では、カフラマンマラシュ地震時の学校被害やその後の復旧、地震を受けた学校防災教育に関するカリキュラムの改訂、公務員に対する防災研修内容の改訂等に関する最新の状況を聞き、意見交換を行いました。

今後、今回の調査やワークショップで得られた知見を用い、トルコにおける震災の教訓を活かした防災研修プログラムの開発研究や展開の取り組みを行っていく予定です。

※ https://irides.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/20230921_reportc.pdf

文責：福島 洋（陸域地震学・火山学研究分野）



ワークショップの様子

(次頁へつづく)



**WORKSHOP ORGANIZED BY A JST J-RAPID PROJECT
“SURVEY ON THE IMPACT OF THE 2023 KAHRAMANMARAŞ
EARTHQUAKE
ON SCHOOLS AND THE SITUATION OF DISASTER EDUCATION”**



Place: Hotel Novotel Gaziantep, Room Zeugma 1

Date and Time: 27 April 2024, 11:00 – 17:00

PROGRAM

AM 11:00-12:45

- Opening introduction

(Yo Fukushima, Tohoku University, Japan, Principal Investigator of the project)

- Disaster education activities in Japan after the 2011 Great East Japan
Earthquake disaster

(Takashi Oda, University of Tokyo, Japan / Ryo Saito, Tohoku University, Japan)

- Results of the online survey on teachers' opinions and disaster experiences
(Canay Doğulu, TED University)

- Group Discussion I

- Lunch break (12:45-14:00)

PM 14:00-17:00

- Group Discussion II

- Coffee break (15:10-15:20)

- Group Discussion III

- Summary of the meeting and closing
(Canay Doğulu, TED University)

